

<2023 年夏 海外体験特別プログラム 募集要項>

I. 概要

この海外体験特別プログラムは、TGL プログラムに参加する学生を対象に、多様なテーマのもとに協定校等で研修をおこなうものです。このプログラムは全学教育科目「海外短期研修（発展 B）」^{※1}として実施されますので、所定の成績を取めた学生には、2 単位が付与されます。

※1 令和3年度以前入学者は、科目名を読み替えてください。

1. 実施プログラム詳細

実施大学	貿易大学 (FTU, VJCC Ha Noi)
実施国	ベトナム
プログラム名	【TGL プログラム参加者対象】リーダーシップへの理解を深めキャリアデザインへとつなぐ
科目・題目	「海外短期研修（発展 B）」
単位数	2
募集人数	15 名
実施期間	日本出発日：9 月 4 日（月） 日本帰国日：9 月 17 日（日）
受講料 ^{※2}	5 万円
プログラム概要	1 日 5 時間程度の企業訪問学習 企業文化や日本とベトナムのビジネスに関連する基礎的講義 ホスト大学講師によるチュートリアルでの課題解決型学習へのフィードバックセッション 1 日 2 時間程度のチームビルディングと振り返りセッション 現地学生との交流 合同発表回
プログラムの特徴	・TGL プログラムで得た態度、スキル、知識面での成長・成果を本プログラムで応用し、自己成長を確認しながらリーダーシップに関する理解を深め、自身のキャリアデザインにつなげる ・事前研修：TGL プログラムでの成果の整理と自己成長のためのワークショップ、現地企業訪問計画の作成 ・現地研修：課題解決型学習を含む企業を学習拠点とする活動、講義、現地大学生との協同学習、グループプレゼンテーション ・事後研修：現地研修を踏まえたグループプレゼンテーション、今後のキャリアデザインを考えるワークショップ
研修参加に求められる語学要件	TOEFL ITP スコア 550 点または同等レベル
滞在先形態	ホテル(2 名 1 室を基本とする)
参加費用 ^{※3}	約 25 万円～30 万円 (受講料、航空券、宿泊費、査証取得費、海外旅行保険を含む概算費用) ※現地交通費、食費、出入国手続きなどにかかる費用は別途必要

※2 大学院学生の場合、受講料は全額自己負担となります。

※3 記載金額は 4 月 17 日現在のレートに基づく概算となります。今後の為替相場の変動及び燃油サーチャージ等の高騰により記載の金額から大幅に上昇する可能性もあります。予めご了承ください。

2. 実施スケジュール

内 容	日 時	備 考
プログラム募集説明会	4月24日(月) 18:30~20:00	オンライン(Zoom)にて開催
プログラム相談会	5月10日(水) 12:10~13:00	川内北キャンパス講義棟C棟 C103、C104
募集締切	5月22日(月) 9:00 6月1日(木) 正午	応募フォームから申込
選考結果発表	6月中旬	学務情報システムより連絡
事前研修(プログラム独自)	第1回:7月15日(土) 10:00~15:00 第2回:8月28日(月) 18:00~19:30	会場は担当教員から別途連絡
第1回合同事前研修	6月21日(水) 18:30~20:30	川内北キャンパス講義棟A棟 A200、A101~A106
第2回合同事前研修	8月7日(月) 18:30~20:30	川内北キャンパス講義棟A棟 A200、A101~A106
プログラム実施	日本出発日:9月4日(月) 日本帰国日:9月17日(日)	
事後研修(プログラム独自)	9月27日(水) 18:30~20:00	会場は担当教員から別途連絡
事後報告会	10月18日(水) 18:30~20:30	全プログラム合同、会場未定 (別途連絡あり)

II. 応募条件

1. 応募資格:

全学部生、大学院生(学年不問) ※非正規生は応募できません。

2. 応募要件:

以下全ての条件を満たすこと。

- ① 学生教育研究災害傷害保険(学研災)に加入済みまたは加入手続きを済ませていること。
- ② パスポートを取得済みまたは申請手続きを済ませていること。
- ③ プログラム参加に支障のある健康上の問題、懸念事項がないこと。
- ④ 渡航時までに日本国および渡航先国が出入国者に定める要件(ワクチン接種等を含む)をすべて満たせること。
- ⑤ 誓約書兼承諾書の内容に記載された全ての事項を理解し、同意していること。
- ⑥ TOEFL ITP スコア 550 点または同等レベルの英語力を有すること。
- ⑦ TGL プログラム参加学生かつ以下のいずれかの条件を満たしていること。
 - (1) 学部3年生以上のTGLグローバルリーダー(GL)認定学生
 - (2) 応募時にGL認定要件を満たしており、2023年度前期のGL認定審査申請をおこなう予定の者
 - (3) TGLプログラムに参加している学生(グローバルゼミまたはAdvanced Global Seminarを履修済または履修中であること)

III. 応募期間

応募受付終了： 2023年6月1日（月）—9:00—6月1日（木）正午

IV. 応募方法

1. 応募方法

応募フォームに必要情報を入力し、応募に必要な書類をそれぞれ指定されたファイル形式で提出してください。

2. 応募書類と作成上の注意

(1) 応募用紙

グローバルラーニングセンターウェブサイトから本プログラム用の応募用紙をダウンロードし、課題作文を作成してください。課題作文は、応募用紙の中で指定された言語、および、語彙数で作成すること。

(2) 誓約書兼承諾書

グローバルラーニングセンターウェブサイトから「海外短期研修誓約書兼承諾書」をダウンロードし、全ての事項を理解し同意した上で、応募者本人及び保護者等の直筆署名を行い、スキャンデータを提出してください。

(3) 成績証明書（学部新入生を除く）

成績証明書のスキャンデータを提出してください。

※2023年度学部新入生で成績証明書が発行できない者については、提出する必要はありません。

(4) TGL ポイント確認表（学部新入生を除く）

応募時点で最新の TGL ポイント確認表（2023年3月）の PDF ファイルを提出してください。学部生の時にグローバルリーダー認定済で現在大学院生のために最新の TGL ポイント確認表を得ていない学生は、グローバルリーダー認定後に配布された TGL ポイント確認表のうち最近の PDF ファイルを提出してください。

TGL ポイントについて確認が必要な場合の連絡先： tgl@grp.tohoku.ac.jp

※2023年度学部新入生で TGL プログラムに参加していても応募時に TGL ポイント確認表が発行できない者については、提出する必要はありません。

(5) 語学スコア証明書

指定されたテストスコアのスキャンデータを提出してください。

V. 注意事項

以下の内容を必ず読み、理解した上で応募してください。

- 募集要項、Q&A、シラバス（東北大学全学教育ウェブサイト 学務情報システムより検索 https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku_koyomi_syllabus.html）を全てよく読み、理解した上で応募してください。
- 選考結果の通知は、6月中旬に学務情報システムのお知らせから連絡します。
- 選考結果発表後の辞退は原則として認められません。事前・事後研修、事後報告会、移動日も含めた現地研修のすべてに参加できることを確認した上で応募してください。また、所属学部等の追試験・再試験期間と重なっている場合は応募できません。
- 危機管理上の理由から、プログラムへの途中参加や一部参加は如何なる理由であっても一切認められません。追試験や再試験であっても認められませんので、必ず事前に試験日程を確認してください。
- 選考結果についての申し立てや、不採用理由の説明を求めることはできません。
- 応募者多数の場合は、TGL プログラムグローバルリーダー認定者が優先的に選抜されます。

- 応募者が最少催行人数に達しない場合、実施中止となることがあります。
- 今後の世界情勢やコロナウイルス等の感染拡大等の状況を鑑み、大学の判断によりプログラムが中止・中断となる場合があります。その際に発生した一切の費用（キャンセル料や中断の場合の帰国旅費等）は全て参加学生の負担となります。
- 受講料を含む参加費は参加決定後にお支払いいただきます。一度払い込まれた参加費用は返金されません。
- プログラムには、現地研修に加え、事前・事後研修、報告会の参加、報告書作成や各種提出物の準備が含まれます。本プログラムへの参加にあたっては、全学教育科目「海外短期研修（発展 B）」を履修する・しないに関わらず、これらの研修等全てに参加し、与えられた課題を提出することが義務付けられます。なお、課題や各種提出物の期限までの提出、事前・事後研修全ての参加が下記に記載する奨学金支給の条件となります。
- 成績評価を伴う全学教育科目「海外短期研修（発展 B）」の履修を原則とします。但し、履修制限等の特別の理由により科目履修を望まない等の事情がある場合には、履修を辞退することができます。
- 海外体験特別プログラムと SAP プログラムを併願する場合は、選考において海外体験特別プログラムの応募が優先されます。また、海外体験特別プログラム以外のグローバルラーニングセンター及び所属学部等が主催する海外研修プログラムとの併願については、事前・事後研修、報告会、移動日も含めたすべての研修日程に参加できる場合に限り、可能です。
- 学部生の場合、派遣先大学での受講料の一部を参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。ただし、大学院学生の場合、現地派遣プログラムの受講料は全額自己負担となります。その場合の受講料につきましては、留学生課に直接お問い合わせください。なお、授業料全額免除となっている学部生の場合には、受講料も免除になる可能性があります。受講料免除の可否については、参加決定後に審査の上決定されます。
- 東北大学では、短期海外研現地派遣型プログラムに参加する日本人学生に対し、一定の条件を満たした場合、日本学生支援機構から 7 万円の奨学金が支給される可能性があります。ただし、奨学金の支給枠は限られているため、参加者全員に支給されるものではありません。参加候補者として選出された際は、東北大学の代表として参加するという自覚を持ち研修に臨んで下さい。奨学金の支給を希望する学生は、以下の条件を全て満たす必要があります。
 1. 経済的理由により、自費のみでの短期海外研修プログラムへの参加が困難な者
 2. 短期海外研修プログラム参加にあたり、必要な査証を確実に取得し得る者
 3. JASSO 指定の方法により算出される 2022 年度の学業成績が成績評価係数 2.3（3.0 満点）以上であることを含む JASSO が定める奨学金受給要件を満たすこと
 4. 当該プログラム所定の全学教育科目の履修登録をすること
 5. JASSO が実施する 2023 年度第二種奨学金在学採用の家計基準に合致する者を優先

※家計基準は以下ホームページを参照してください。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/daigaku.html
- 本学での修学のために日本学生支援機構の給付奨学金を受けている学生については、本プログラム参加により奨学金を受給する際に、給付奨学金の停止手続きが必要となる場合があります（日本学生支援機構の貸与奨学金を受けている学生は、停止する必要はありません）。対象者には、本プログラム参加による奨学金の支給が決定した際に、改めてお知らせします。
- 本プログラム参加にあたり、往復の航空券等参加に係わる交通費、宿泊費、保険料、旅券査証申請費及び食費等がかかります。
- 既定の家計基準等を満たす場合、渡航支援金として 16 万円が支給される可能性があります。詳しい条件と提出書類は、Q&A「Ⅱ. 費用と奨学金について」の「Q3. 渡航支援金支給の詳しい条件と提出書類を教えてください。」で確認してください。
- 本プログラムに参加決定後に事前・事後研修、事後報告会を許可無く欠席したり、必要書類の提出を怠ったり、現地研修期間中に団体行動を逸脱する行為及び禁止事項に該当する行為が見られた場合には、奨学金や渡航支援金の支給停止や返還、及び受講料の全額請求を行う可能性があります。

- 本プログラムに参加が決定した場合、参加者全員が大学指定の海外旅行保険である「付帯海学」への加入が義務付けられます。付帯海学へ加入するためには、学生教育研究災害障害保険(学研災)に加入済みである必要があります。学研災に未加入の場合は、応募前に学生支援課生活支援係(川内北キャンパス)で加入手続きを行った上で応募してください。
学研災: <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/studentlife/11/studentlife1101/>
- 付帯海学への加入方法は、参加決定後に案内します。
- 本プログラム参加に伴う海外渡航にあたっては、所属学部・研究科による承認が必要となります。
- 本プログラム期間中、所定の滞在先以外での宿泊（外泊）および滞在国以外への渡航は認められません。
- 本プログラムへの参加が決定した場合、速やかにパスポートの顔写真ページのコピーの提出が必要となります（提出方法は参加者に別途案内します）。パスポートを未取得の場合は、応募前に必ずパスポート申請手続きを行った上で応募してください。パスポートを取得済みの場合も、予め有効期限を確認し、研修終了後も有効期間が十分残っていることを確認してください。有効期間が1年未満の場合は、切替申請をする必要があります。
- 合格者決定後直ちに本プログラム参加人数分の航空券等を手配します。合格発表後に参加を辞退する場合、その時期によっては事前手配済みの航空券等に関する取消手数料等（学生負担）の支払いが必要となります。
- 担当教員が必要と認めた場合は、本プログラム独自の事前研修の回数が増える可能性があります。

VI. 問い合わせ

教育・学生支援部留学生課 海外留学係

電話：022-795-4818（平日 8:30～17:00）

Email：sap@grp.tohoku.ac.jp